

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

研究課題名	薬物摂取者における薬物代謝酵素の遺伝子解析
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 医学部 法医学講座
研究期間	倫理審査委員会承認後 ~ 2025 年 3 月
対象者	2004年4月1日～2011年3月31日までの間に亡くなった方の中で特定の薬物が検出された方、または検出されなかった方
当該研究の意義・目的	<p>近年の薬理遺伝学の展開により、薬物代謝能の個人差は薬物代謝酵素の遺伝子多型によるものであることが明らかとなってきた。一方、法医学解剖で扱われる剖検例の中には、慢性および急性の薬毒物中毒事例が散見するが、必ずしも薬物血中濃度が致死量に達していない事例もあり、診断に苦慮することも少なくない。これは薬物の長期服用や多剤併用、肝、腎臓障害等による影響に加え、薬物代謝酵素の遺伝子多型による影響も示唆される。そのため、死因への薬毒物の影響を正確に判断するためには遺伝学的な要因を解明することが必要である。</p> <p>薬毒物摂取者の法医学解剖例を対象に遺伝子解析を行うことは、解剖による臓器所見や薬物血中濃度と比較し、薬物摂取者と対照群の区別が正確に行える点から、薬毒物中毒死の遺伝的素因について新しい知見をもたらすことが期待できる。本研究の目的は、直接的には薬毒物中毒死への遺伝的素因の影響を解明することであるが、最終的には薬毒物中毒の病態を分子レベルで解明し、より安全な薬物処方の指針、オーダーメイド医療に役立つ知見を得ることにある。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>法医学解剖では解剖時に、診断のため臓器の一部を試料として採取させていただいております。諸検査が終了し死因が判明した後、解剖時採取したリンパ節より DNA を抽出し、薬物代謝酵素遺伝子の遺伝子多型について、解析させていただきます。</p> <p>血液および臓器の採取や遺伝子解析研究にかかる費用は、研究助成金などから出されますので、ご遺族が負担することはありません。また、研究に協力して頂いたことに対する金銭を含めた報酬はありません。上記期間中に得られた血液および組織を本研究のために使用させていただきます。</p> <p>研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。</p>
外部への資料・情報の提供	共同研究先へのデータの提供は匿名化し、個人が特定不可能な状態で行き、郵送又は電子的データ送信により提供します。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
研究代表施設・代表者	金沢医科大学医学部法医学講座 水上 創
研究組織	
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 医学部 法医学講座

	住所：石川県河北郡内灘町大学1-1
--	-------------------

	☐：（代表）076-286-2211 内線（3913）
--	-----------------------------

作成日： 2023年 3月 23日（第2版）